

HO YOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1989. 9. 26号

全寺院ご協力を

御同朋総結集大会へ

御同朋総結集大会は準備委員会等を開きすでにスタートがきられております。先に開催された大会の役員会や企画会議のなかでは内容に関する具体的な意見やポスターに対する要望などが

御同朋総結集大会へ

「兵庫教区御同朋総結集大会」が、平成二年十一月七日(水)に神戸ワールド記念ホールにおいて、七千人の参加のもとに開催されることが決定致しました。

大内会長がお願い



案企画を初め、その準備を進めなければならないことが決められています。そこで準備委員会の役員・関係者一同は、今こそ衆知を集めて、慎重にそれをやりとげて、次年度に設置される「大会実行委員会」にパト

てのものでなくては意義がなくなりません。組基推委の結成、各組ごとに「基幹運動推進委員会」を結成していただく、組画変更後の組の実状の点検であります。御同朋総結集大会の開催、そして、特に不十分な問題について重点を絞っていただく、活性化をはかるための一組一行事を計画されて、組ごとの「御同朋総結集大会」を開催されま

わが教区の永年の懸案でありました組画変更が昭和五十九年に完遂されて早や五年になります。この年に定められた「教区基幹運動推進基本計画大綱」によれば、今年度は第三期第二年次で、総結集大会の準備委員会をつくり、大会の立

教区総結集大会の意義
総結集大会は、教区の基幹運動計画に基いての実践活動を総結集する大会で、各組間の連絡提携をはかり、統一した運動展開に寄与するためのものであります。当然、全組の寺院挙げて、

教区の総結集大会が、これからの基幹運動推進の力強い原動力となるためには、組の総結集大会が重要な決め手となっております。なにとぞ、各寺院の皆様方の御協力を切にお願い申し上げます。

「研修読本」の私案討議

研修読本 作成部会

去る七月二十七日初めての研修読本作成部会が別院で基推委副会長、組長会代表、連研・同朋読本執筆委員、企画室の委員構成により開催された。

ご存じのように兵庫教区における連研も十二年六期に入っていますが、その取

研修読本作成部会を構成して検討を重ねることとなった。その部会で①「研修読本」(仮称)は連研での使用を中心として、他のどの研修会にも使えるものとする②次回の部会で研修読本の私案をふまえての討議とすることが確認された。

教区だより 9月

- 9月1日(金) 総代ブロック(岡山)久堀弘義師(神戸湊組行願寺) 岡山北組妙願寺
- 1日(金)~2日(土) 近畿同朋寺族婦人研修会 大阪市 ホテルガーデンパレス
- 3日(日) 仏社常任理事会 10時半 仏社理事会 1時
- 4日(木) 組長会 10時半
- 5日(火) 総代ブロック(姫路・西播)久堀弘義師 姫路西組本徳寺 青年僧侶の会役員会 6時半
- 6日(水) 基推委常任企画会議 10時半
- 7日(木) 別院仏婦常例 窪田正憲師(掛竜西組浄教寺) 1時半 同兵宗連役員会 神戸人権会館 1時半
- 7日(木)~8日(金) 近畿ブロック寺族婦人研修会 大津市びわ湖ツーリストホテル
- 9日(土) 総代ブロック(東播)西脇正文師(掛竜西組超念寺) 加古川組妙正寺 東西真宗保育研修会 高砂市正蓮寺保育園 10時 スカウト指導者研修会 7時
- 12日(火)~13日(水) ご門主組巡教 六粟組 青僧会一泊研修 吉崎御坊と北陸新名所を訪ねて
- 14日(木) 連研研究会 10時半
- 14日(木)~16日(土) 別院常例 岡橋聖船師(京都教区) 1時半
- 18日(月) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 東京千鳥ヶ淵墓苑
- 22日(金)~24日(日) 別院彼岸会法要 山崎一朗師(出石組正福寺) 1時半
- 27日(水)~28日(木) 寺婦聞法旅行 山陰と源佐同行を訪ねて
- 10月1日(日) 門徒推進員研修会 氷上東組明光寺
- 2日(月) 近畿地区仏教婦人会大会 国立京都国際会館

「真宗のお墓の建て方」 教区内の全寺院にパンフ

ご門徒の相談にのって下さい

真宗のお墓の建て方

- 1 軸石の正面には名号の「南無阿彌陀佛」を刻みます。
- 2 これに横石を入れた後、真宗の御願文を刻みます。
- 3 法名を刻む場合は、法名は「○○○○」と刻みます。
- 4 小字(姓や名)は横石に刻みます。
- 5 建てられた方の名号や生年月日は軸石の裏面に刻みます。
- 6 お墓の向き、地味、石の積み方などをお知らせ下さい。

墓石にまつわる迷信や占いがはびこる中、阪神西組(綿織美範組長・二十一か寺)では、浄土真宗本来のお墓の建立方法の普及をめざして、パンフレットを作製した。このパンフレットは去る昭和五十八年、西宮真宗連合が制定した七項目を印刷したもの。とくに裏面には「真宗のお墓を建てる皆さまに」と題した解説が書かれてある。ご門徒さ

生前のご苦勞を偲び 謹んで慶弔の意を表します。(敬称略)
神戸中組法西寺住職 環 孝文 7月23日 88才
神戸中組光尊寺前坊守 「浄華院釈妙義」 廣瀬義子 8月10日 93才

報恩講 号です

「法」の活用を

「法」の活用を
「法」の活用を」と題した法話のページも、今回で四回目です。秋の報恩講に配っていたり、九月に作りました。お盆号も一か月前に作ったところ、十か所の寺院や仏婦から申し込まれ、活用していただきました。ありがたいことです。とくに今回は神戸別院がご門徒に配る「法」を各寺に送ります。百部以上のお申し込みには、題字横にこのように印刷します、というサンプルでもあるのです。また2ページ目の法語は本願寺カレンダーの二か月分からいただきました。日付はやめました。これもご自由に配っていただけると幸いです。なお、題字横の寺号を印刷して百部以上は一部十五円です。(事務局)



意
意とは 意味で教義と使われたり伝統的、戦時教育、現代教育と

意とは 意味で教義と使われたり伝統的、戦時教育、現代教育と
使分けされたりします。本来宗学とか宗乗とか教義理論、教義解釈を教義と言っていたようです。◆教義シリーズ「教と運動」(藤田徹文著)の中に「教と学」という言葉に三つの意味があり①教と学。信仰は信仰、学問は学問と、学問と信仰とを並べて考える考え方②教の学。信仰体験を学問的体系を通して表白したもの③布教の学。み教えを応用して人々の個々の悩みに応えてゆくための学」とあります。◆運動の中でこの③の教を強調するのは、現代人の問いに人々の悩みに答える教が樹立されねばなりません◆教を学ぶから教えに学ぶと、教を教えられる教が樹立されねばなりません◆教を教えるから教えに学ぶと、教を教えられる教が樹立されねばなりません◆教を教えるから教えに学ぶと、教を教えられる教が樹立されねばなりません

「泳いで水をのむ」

楽しかったサマースクール

少年連盟の主催で開催されるサマースクールが今年も岡山南組西念寺様や当寺の総代様のお世話で「第26回瀬戸内サマースクール」として七月三十一日から二泊三日で岡山県日生町で小学四年から中学三年まで六十三人の参加で行われた。宿泊先となったのは日生港から船で二十分の頭島、島の周囲は四キロ半、二百の家は夏には大半が民宿となる、その一つ「よしの屋」また、仏讃は頭島にある西

念寺の分院をかしていた。今回は「体感！海……そして恵み」とのテーマで色々な物のいちによつて私達は生かされているのだというお話を聞き、料理ではシヤコやカニがでてきたり貝細工があったりした。二日間の海水浴で真っ黒となった顔で「先生、来年も海でいたい」との声を残しての帰宅となった。

おとといからサマースクールがあった。かいこうしきのときは足海にいつておよいだときはおもしろかった。ねるときにとりのへやの人がぞいてきたりそれに女の先生にウメをとられたし、先生の場所をまちがえたりした。朝のおつとめのお話はわすれた。海にはいる前のお話はテーマの話と海の色の話しを

した。その話で海の色がいろいろないろになっているのがわかった。海にいったとき先生においかけられて水をいっぱい飲んだ。いそそびのときは貝が2まいしかとれなかった。それにふなむしがいっぱいいて、すごいおっきいのがいた。モーターボートにのつたときはおきにでたら水がきれいで、水しぶきをさわつたらいたかった。前にいた人が水をさわつたら水が目の中にはいつていたから、ゴーグルをした。

夕べのおつとめのお話はお話はめぐみの話でいらなところどうさぎたちになにかされていたなんてしかなかった。夕食のときにしんどくてねこんだからキャンプファイヤーとしゅうしんのおつとめができなかった。よるはあまりねむれなかった。

あさのお話はお話の切り上げて思ふのだが、お盆しかご縁に遇えないお同行もあり、汗だくの衣を脱いで昼食はいつも三時頃となる

◆13日 神戸中光光尊寺前坊守様の葬儀に本山よりの達書伝達に教務所長出席。葬儀には前門様ご夫妻もご出席されました。前坊守様は前門様の伯母様にあられる◆16日 播磨中組正願寺の総代葬儀に本山よりの弔慰状伝達に教務所長出席◆19日 20日 89全国真宗青年の集いINSUZUKA。教区より参加四十九人、鈴木サキキツの中にある汎用ホールで模擬結婚式があり、大会を代表して共業組西光寺の後任夫妻(村上義円・由子さん)が今年五月に引き続きの華燭の典となった◆21日 近同推議会と研修会を大阪津村別院で。午後後の研修修了者対象の研修会には教区の推進員八人参加「真宗での同朋運動と生涯学習の同和問題との接点を発見し、どう進めていくのか今後理解を深めていくつもりであります」と推進員の前田さん。



砂遊び楽しく



先生の方がぐったり



岡山県日生町の頭島で開かれたサマースクール、モーターボートに乗って

「お寺も同朋運動をやって」

HOPE

◆7月22日 浜屋の社長浜田博邦氏が十月の本山団参についての打ち合わせのため来院。真宗のみ教えと荘嚴の研修を目的に社員約三百人が上山の予定◆23日 仏壮研修(阪神・神戸ブロック)神戸別院で。講師は西脇修師(揖電西組超念寺)参加百十五人、分科会の発表には次のような意見があった。お寺からも同朋運動に力をいれてほしい。このようなグループでの話し合いを寺院でもしたい。我々の真宗は抽象的でむずかしい。仏社員を増やすためもっと住職の協力がほしい◆推進員連絡協議会役員会、十月一日に予定の氷上東組明光寺での研修会等について◆24日 第三ブロック布教大会を別院で。一人三十分の時間で午前中三人午後四人の各教区代表の布教使が出講された◆25日 第二期寺族婦人会連続学習会の一回目を別院で開催。四回連続で藤田徹文師より教学シリーズを中心テキストとして講義をいただくことと

◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)になった、参加四十九人◆多可組仏婦総会に小滝教務所長出向◆26日 青年僧侶の役員会。研修旅行、街頭伝道など協議◆阪神南組同朋講座を常念寺で。派遣講師は松島法城師(多紀組福寺)◆加古川組総代会に所長出向◆27日 研修読本作成部会。仮称研修読本は連研での使用を中心として、他のどの研修会にも使えるものとする等が確認された



モダン寺暁天講座泊まりがけのお同行も

◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)

◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)

◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)◆28日 結集大会準備委員会。大会に向けての骨格、予算措置など◆播磨中組同朋講座を安楽寺で。派遣講師は谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)◆29日 網干組同朋講座を網干市民センター(揖電東組源徳寺)◆佐用組同朋講座を長永寺で。派遣講師は亀岡周明師(佐用組長永寺)◆30日 仏壮研修(姫路・西播ブロック)



広い本徳寺本堂で仏社員は熱心に討議を行った

好評のモダン寺暁天講座

法

みのり

神戸市中央区下山手通8丁目1-1

本願寺 神戸別院

電話(341) 1209番



モダン寺テレホン法話

361-0091

今、生死の問題は：

根本解決が報恩講です

孝之 利あし



報恩講とは、親鸞聖人のご恩をよるこび、この私が救われていく真実をお聞かせにあづかる、一年で一番大切な法要であります。思えば、今年で聖人生れられてから八百十六年、ご往生されて七百二十七年たっております。

その間、平家も滅び、源氏も倒れ、大閤さんも死し、徳川幕府もなくなり、明治・大正・昭和もすでに過去となり、平成の年を迎えました。年々歳々、人も変りましたが、報恩講だけは絶えることなく、日本だけでなく、世界の各地でもつとめられております。聖人は私たちに何を申されたのでしょうか。「人間に生れたからには、今度は二度と迷わない、必ずさりの身にさせていただく喜びを持つた人生を送ろう、そうしてその喜びを一人でも多くの人たちに伝え、ともに喜びと感謝の人生を進もうではないか」と、教えられたのであります。

えです。この教えは、阿弥陀如来から廻向されるのです。廻向とは、阿弥陀仏からちようだいするのですから、死ぬとは申しません。その教えをちようだいしますと、私が死ぬる問題は、一度に全部完全に解決いたします。死の大問題が解決した毎日の生活は「お念仏の生活」をします。浄土真宗のお念仏の教えも、ご廻向のもので、ちようだいするのです。それでお仏壇の仕度をして、家族の者が、朝な夕な、いつでも合掌礼拝します。次にいつでも、南無阿弥陀仏と称えます。次に必らずお寺に参詣して聞法をします。

聖人は「聞」というのは、衆生・仏願の生起・本末を聞き疑心有ることなし、これを「聞」というなり」と教えられました。これを蓮如上人はご文章の中に「無明業障の恐ろしき病」と書かれました。この自覚症状なき病人なるがゆえに、阿弥陀如来が本願をたてられたのであります。これが「生であり起」であります。次に「本」とは、仏願の本体は六字の名号であり、迷いの衆生を救ってみせると、永い永い間思案されてできあがつ

たのが、南無阿弥陀仏の業であります。この六字の妙業を疑いなく信じてのむ人が、無碍の一道に出られるのであり、仏恩報謝のできる身となられるのであります。これを本末というのです。

蓮如上人は、この報恩講で一番大切なことは、ただ世間のつきあいや義理のごとく心得て、口先だけお念仏をしているようなことでは、だめだ。一人一人が、まことの信心をいただき、後生の一大事を解決することが何よりも報恩講の懇志なのだ、何回も何回もきびしくいましめておられます。後生の一大事ということ、現代の人々は、何か現実生活をなげすめて、死後の来世をあこがれている妄信のように考えられがちです。浄土真宗の教えは、けつして古代の来世教のように、現実の欲求不満を来世にかけ、あこがれているようなものとは全くちがいます。「後生」とは「大無量寿経」で「後には無量寿仏の國に生まれ」と説かれておられるように、さとりの世界を志求することであり、「一大事」とは「法華経」に「一大事因縁」と説かれておられるように、さとの智慧を開くということです。

要約しますと、迷いをひるがえして、まことのさとりを得るといふ問題を示しているのです。自力の宗教はこの世でさとりを開いて仏になる—と書いていますが、聖人は長い自力のご苦労の果てに人も世も煩惱にけがれはてている中で、いかに理想だけ立派なことをえがいてみても、実際はかすみを吸うて生きるわけにもいかず、地上から足をはなして歩むこともできないのですから、完全なさとりのお仏になることはできない。無量寿仏の國であるお浄土に生まれて、さとりを開くことを私たちに教えられたのであります。

私たちの人生は生と死が全体で、その中にあらゆることがおさまります。そして私たちは生にあえぎ死をおそれています。この生死の問題を正しく解決してこそ、まことの生き方といえます。花の咲くのも人生ならば、花の散るのも人生であるように、生も人生の事実ならば、死もまた人生の事実としてこれを正視しないわけにはいきません。むしろ死をほんとうに解決した人こそが、生の意味もほんとうに知った人なのです。よろこんで生きられる、よろこんで死なれる、人生の根本解決が真宗です。報恩講です。まことの本願の救いを聞いたものは、現在、ただいま救われて、如来とひとしい徳をいただき、生死の解決をえていくのです。心静かにお念仏申しませう。

(阪神東組・安養寺)

一寸 ^{いっすん}ききは ^{やみ}闇といふ

よくみればその闇は

私の中にある

ただ念仏であつた



私の生の

総決算は

ただ念仏であつた

近藤 龍樹 ^{こんどう りゅうじゅ}

僧侶になって十年が過ぎた。その間にいろいろな人と知り合い、悲しい別離もあつた。僧侶の私が一番苦手なことは、遺族が涙を流している中で、お経を平静に読まなければならないことだ。私が法務に出始めた時からの同行さんの一人が、突然亡くなられた時、思わず声を出して泣いてしまった。どうしてもお経が読めない。一時間ほどかかってやっと阿弥陀經一卷が読み終つた時分には、弔問者が庭までならんで待つておられた。今、私はその同行のおじいさんから、よくいわれたことを思い出す。

「もうあかん」という時は、死ぬ時でつせ。それまではええも悪いも一生懸命生きなあかん」と。私はいつもこの言葉に励まされていた。
仏教詩人の木村無相氏の詩の中に、
生の意義とは
ミダに遇ふこと
遇うたらこの世が
よろこべる
雨がふるうが
雨がふこうが
よび声を
ただたよりけり
旅のそら
雨ふらばふれ

風ふかばふけ
何と力強い詩でありましようか。人生の中で困難なことにおつかれば、すぐ神仏の奇跡を願う気持ちになり、災いがあると聞けば逃げ回ろうとする。これが当たり前前かもしれない。しかし念仏の世界とは違う。
ある小冊子に、故加藤弁三郎氏が、米国に出張された時、列車事故にあい、多くの死傷者が出た。氏は無事に帰国することができたのだつたが、出迎える人の中の一人が、あなたは平素お念仏を喜ばれているので、災難を脱られたのでしよう、という、氏は、私の

いただいているお念仏は、奇跡をあてにするものではなく、どんな不幸にあつても、なおかつ有難いといえるお念仏なのです、と答えられたそうです。
雨ふらばふれ、風ふかばふけ、阿弥陀さまは、私の人生が、どんなに苦しくとも力の限り生きて下さいよ、あなたを決して、一人にはしません、いつも私の中にいて下さる。その証拠には、口からお念仏という如来さまの呼び声が出て下さる。あなたのところにも如来さまはいて下さいます。お念仏申せば、聞こえます。
(加古川組・普光寺)

お仏壇・お仏具のお求めは、創業180余年の浜屋へ



大切にしたい日本の心

やすらぎのある生活
浜屋の願いです。

やすらぎの世界を創る



- 岸和田店 45 -2211代
- 堺店 61 -2211代
- 堺中環寺店 51 -2211代
- 藤井寺店 54 -2211代
- 駒布川店 699-2211代
- 住施道川店 783-2211代
- 高野店 74 -8116代
- 茨木店 29 -2211代
- 江坂店 83 -2211代
- 池田店 22 -2211代
- 伊丹店 388-2211代
- 西宮店 53 -2211代
- 尼崎店 75 -2211代
- 西神店 413-2211代
- 新田店 51 -2211代
- 長石店 371-2211代
- 加古川店 621-2211代
- 野田店 927-2211代
- 高砂店 37 -2211代
- 高砂店 26 -2211代
- 姫路店 43 -2211代
- 山崎店 82 -2211代
- 赤穂店 76 -1316代
- 直営工場 5 -2211代
- 大阪商品センター 93 -2011代
- 姫路商品センター 97 -2211代
- 寺院工部部 22 -2211代
- 阪和2環寺店 45 -2211代
- 西長藤寺店 61 -2211代
- 中之野店 54 -2211代
- 近鉄近野店 699-2211代
- 中野店 783-2211代
- 近鉄中野店 74 -8116代
- 近鉄中野店 29 -2211代
- 近鉄中野店 83 -2211代
- 近鉄中野店 22 -2211代
- 近鉄中野店 388-2211代
- 近鉄中野店 53 -2211代
- 近鉄中野店 75 -2211代
- 近鉄中野店 413-2211代
- 近鉄中野店 51 -2211代
- 近鉄中野店 371-2211代
- 近鉄中野店 621-2211代
- 近鉄中野店 927-2211代
- 近鉄中野店 37 -2211代
- 近鉄中野店 26 -2211代
- 近鉄中野店 43 -2211代
- 近鉄中野店 82 -2211代
- 近鉄中野店 76 -1316代
- 近鉄中野店 5 -2211代
- 近鉄中野店 93 -2011代
- 近鉄中野店 97 -2211代
- 近鉄中野店 22 -2211代